

令和5年度（2023年度）第1回越谷市科学技術体験センター運営委員会

- 日 時 令和5年6月27日（火） 10時00分～11時30分
- 場 所 越谷市科学技術体験センター 2階レクチャー室
- 出席者 （委員8名）手嶋委員長、井原副委員長、鈴木委員、林委員、野口委員、
安川委員、柳委員、金子委員
（事務局7名）木村生涯学習課長、
小抜生涯学習課調整幹兼科学技術体験センター所長
北郷生涯学習課副課長、武田主幹、荒井主任指導主事、平澤主事
- 欠席者 （委員3名）木野内委員、大塚委員、池田委員
- 会議次第
- 1 開 会
 - 2 あいさつ
 - 3 報告事項
 - （1） 令和4年度（2022年度）事業報告について
 - （2） 令和4年度（2022年度）決算概要について
 - （3） 令和5年度（2023年度）事業計画について
 - （4） 令和5年度（2023年度）当初予算について
 - 4 その他
 - 5 閉 会
- 内 容 下記のとおり

会 議 内 容

令和5年度（2023年度）第1回運営委員会会議録（令和5年6月27日開催）

1 開会 北郷生涯学習課副課長（司会）

2 あいさつ 手嶋委員長

3 報告事項

（1）令和4年度（2022年度）事業報告について

議 長 令和4年度（2022年度）事業報告についての説明を求める。

事務局 令和4年度（2022年度）事業報告の資料に基づいて説明を行う。

議 長 委員に諮る。

委員 令和4年度は、越ヶ谷小学校で出張サイエンスショーを実施してもらった。その時の人数等は、統計データに反映されているのか。

事務局 運営員会資料の16ページに記載されている「市内小中学校出張サイエンスショー」の13校に、越ヶ谷小学校は含まれている。

(2) 令和4年度(2022年度)決算概要について

議長 令和4年度(2022年度)決算概要についての説明を求める。

事務局 令和4年度(2022年度)決算概要の資料に基づいて説明を行う。

議長 委員に諮る。

委員 歳入で「自動車事故に関わる損害賠償金」と記載があるが、今までこういった記載は見たことが無かった。どのような事故だったか。また、市側が事故を起こした場合の対処について伺いたい。

事務局 事故の内容については、令和4年3月末に発生したものである。当センターの公用車が赤で停止しているところに、相手方から追突された事故である。当センターの公用車に過失は無く、相手方から事故の車の修理代等をお支払い頂いた。また、市側で事故を起こした場合については、市が加入している保険で対応する。

委員 科学教室等実費徴収金について、予算額より実際に入ってきた金額が多いが、これは人が多く集まったという解釈でよろしいか。

事務局 昨年度に比べて入場者数が増えたことから、科学教室等実費徴収分が増えた。予算額を決定する際に見込み額を計上したが、予想を上回って来館者数の方が増えた。

(3) 令和5年度(2023年度)事業計画について

議長 令和5年度(2023年度)事業計画についての説明を求める。

事務局 令和5年度(2023年度)事業計画の資料に基づいて説明を行う。

議長 委員に諮る。

委員 今は科学技術と言っても幅広く、情報技術やChatGPTのようなソフトウェアなども含まれる。当センターの講座では、実験工作系かコンピュータ系か、どのような

な講座が人気なのか伺いたい。

事務局 人気の講座は、年代別に傾向が分かれており、小学校1年生から4年生では、主に工作系講座の申し込みが非常に多い。大人はプログラミング系の講座の申し込みが多い傾向にある。

委員 3Dプリンターの導入は検討しているのか

事務局 3Dプリンターの機械を導入というのは、なかなか難しい。3Dプリンターは様々な現場で活用されていることから、企業や他館と連携し、借用するなどして今後の科学講座等に組み込んで応用していきたいと考えている。

(4) 令和5年度(2023年度)当初予算について

議長 令和5年度(2023年度)当初予算についての説明を求める。

事務局 令和5年度(2023年度)当初予算の資料に基づいて説明を行う。

議長 委員に諮る。

委員 29ページの「科学技術体験センター管理運営費」の「比較増減額」に記載のある55,360,000円は、昨年度と比べて増額しているが、二階系統空調機改修費と委託料の出費が主であるということによろしいか。

事務局 お話のとおり、主な出費として改修費が多額を占めている。当センターは二十年以上経っていることから、各所で経年劣化しているため修繕が必要となっている状態であり、そのため、施設改修費が多くなっている。

委員 先日、越ヶ谷小学校にミラクル職員の方に授業協力で授業を行ってもらったところ、子供たちに大変好評であった。ミラクルで実験器具の貸し出しや学校利用ができることを知らない学校がある。学校向けに行っている事業について、周知していただきたい。

事務局 校長会等で周知していきたいと考えている。

委員 令和5年度予算の光熱水費について1,000万円の予算となっている。その内訳として、電気代が占めていると思われるが、館内での節電対策等について伺いたい。

事務局 まず予算額について電気代の高騰と併せて、来館者数が増えたことによりトイレ等の水道代も増額傾向にあることから、昨年と比べて光熱水費を増額せざるを得ない

状況となっている。節電対策としては、使用していない会議室等や空調等は、電気を切っている。空調についても適正温度に努め、来館者数の増減に応じて様子を見ながら温度調整を行っている。

委員 ミラクル友の会では、以前、バス等で外部に行き、体験や講演を聞くイベントがあったが、そのイベントは復活しているのか。

事務局 令和4年12月に、ミラクル友の会会員を集め日本工業大学へ見学に行くイベントを行っているので、復活はしている。今年度は、現在準備中であり、外部講師の講演や外部施設への見学、若しくはミラクルにて人気の講座を特別講座として実施することを検討している。

委員 特殊な体験装置を用いての体験や、専門の先生に話を聞く機会というが子供たちの将来を考える上で有効ではないかと考えるが、そのようなことも検討してもらいたい。

事務局 当センターは、全国科学博物館協議会、全国科学館連携協議会に加盟しており、それらの機関と連携しながら、講師等を科学技術体験センターに招いて講座等を行うなど随時検討していく。

委員 先ほどの話の中で、越ヶ谷小学校へ約30台の顕微鏡を貸し出したとあったが、デリケートな物で運搬が難しいと思われる。運搬方法を参考までに教えていただきたい。また、コロナ前と比べて、来館者に変化があったのかを伺いたい。

事務局 まず顕微鏡についてそれぞれ大きくて重いものではあるが、衣装ケースに5台ずつ詰めて、車に乗せて運んでいる。高価な物であるため、慎重に運搬するよう心掛けている。来館者の変化については、昨年と比べると月辺りで100~200人ほど来館者数が増えている状況ではある。

委員 消耗品費の中で「月刊誌」とあるが、仕事上で購入する図書関係のものは、自分で個人負担なのか、それともこのセンターとしての備品であるのか伺いたい。

事務局 月刊誌の用途として、科学教育指導員等の先生方に今後の講座の参考や、新たな講座の開発のヒントとなるよう使用しているため、自己負担で購入する形はとっていない。

4 その他

議長 委員、事務局に連絡・報告等の事項を尋ねる。

事務局 次回の科学技術体験センター運営委員会の開催予定は、令和5年11月頃に委嘱状

交付式とあわせて開催を予定している。開催通知については、会議の開催の1ヶ月前を目途に郵送にて案内するので、よろしくお願ひしたい。

手嶋委員長が議長の職を降り、司会が進行役となる。

5 閉会 井原副委員長の挨拶にて閉会。